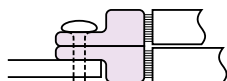


## ブレーカへの圧着端子の接続方法

## ■2個接続の場合

- 1.上下背あわせに接続してください。
- 2.圧着端子の大きさがちがう場合は、大きい方を下側に接続してください。
- 3.下側の圧着端子は14mm<sup>2</sup>以上の取付可能なものを使用してください。



## ソルダレス端子への直付接続

## ■安全ブレーカ、GB-1ZA・2ZA、2EA

- 1.より線はほぐして、心線をそろえてから接続してください。
- 2.より線のハンダ上げやバインドはしないでください。
- 3.電線の絶縁被ふくをかまないように接続してください。
- 4.機器用電線など、3.5mm<sup>2</sup>以下の細いより線を使用する場合は、棒圧着端子をご使用ください。

電線ストリップ寸法

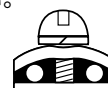


## 2本の電線の接続

安全ブレーカタイプにやむを得ず電線を2本接続する場合は、φ1.6とφ1.6または、φ2とφ2の組み合わせ以外の複数電線接続は避けてください。

**BC-1HEA、BC-2HEA、B-1EA、B-2EA、GB-1ZA、GB-2ZA、GB-2EA、GBU-3-1EA、GBU-3-1HEA等**

**B-53EC**等の線押さえ端子を持つ器種に電線を2本接続する場合は、同一サイズの電線で接続してください。異径電線の組み合わせで接続する場合は圧着端子をご使用ください。



## 電気温水器・エコキュート用住宅用分電盤の端子台



- 端子台容量 150A
- 定格適合電線 38mm<sup>2</sup>

送り用端子 (M8)  
入線用端子 (M8)

分岐回路

**BC-2NA**

20A、30Aの場合は最大4回路  
40A、50Aの場合は最大2回路

**GB-52NA**は最大1回路

## 端子台付の例

電気温水器・エコキュート用ブレーカ



## 電気温水器・エコキュート用住宅用分電盤の製作範囲

電気温水器・エコキュート用住宅用分電盤は、端子台、主幹ブレーカおよび電気温水器用ブレーカの容量を考慮して表1の範囲で製作可能です。

ご注文の際は、端子台容量、温水器用ブレーカと主幹ブレーカの組み合わせおよび引込電線サイズ等を考慮して、ご注文ください。

表1

□：製作可能 ×：製作不可

主幹型式	定格電流	蓄熱・エコキュート・電気温水器用ブレーカの定格電流の合計										
		20A	30A	40A	50A	60A	70A	80A	90A	100A	110A	120A
GBU-53-1HEC	40A	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
	50A	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
GBU-63-1HEC	60A	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
GBU-73-1HKC	75A	□	□	□	□	□	□	□	□	×	×	×
GBU-103-1HKC	100A	□	□	□	□	□	×	×	×	×	×	×

蓄熱・エコキュート・電気温水器用ブレーカは深夜電力回路とする。

20A、30A パールテクトブレーカ **BC-2NA**40A、50A パールテクトブレーカ **B-52NA**

## 電圧測定(分岐ブレーカ1次側の電圧測定方法)

図は、分岐二列タイプの例です。

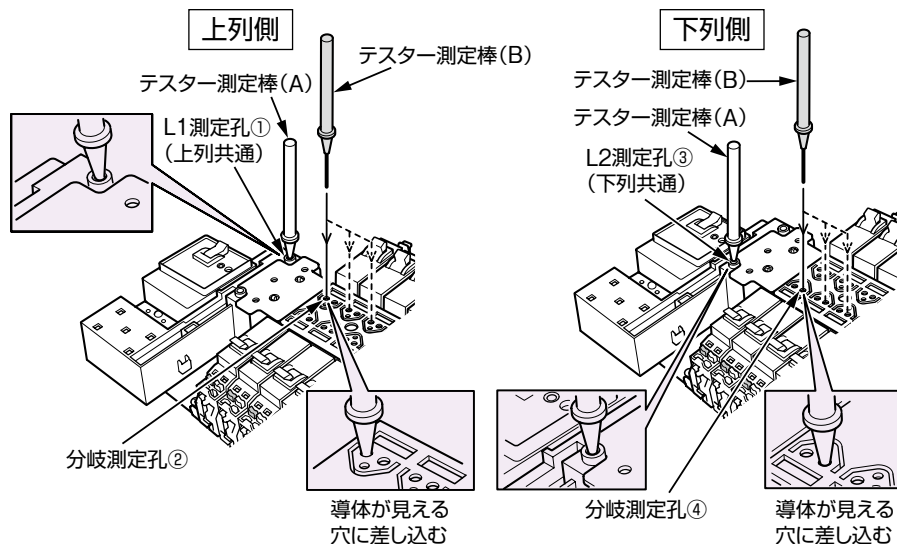
## 1.分岐ブレーカ上列側の電圧を測定する場合

- (1)テスターの測定棒(A)をL1測定孔①に差し込みます。
- (2)テスターの測定棒(B)を分岐測定孔②の導体が見える穴に差し込み、各分岐回路の電圧値を読み取ります。

## 2.分岐ブレーカ下列側の電圧を測定する場合

- (1)テスターの測定棒(A)をL2測定孔③に差し込みます。
- (2)テスターの測定棒(B)を分岐測定孔④の導体が見える穴に差し込み、各分岐回路の電圧値を読み取ります。

■負荷機器に電圧を供給する前に各分岐回路の電圧を測定することができます。測定する際は、分岐ブレーカを必ず切ってください。



**注意** テスターは先端部が14mm以上のものを使用してください。